


医学部

医学科

医学部医学科は、医学に対する旺盛な向学心を持ち、人への尊厳を有し、また、医療を実践するための決断の勇気を持つ人材を求めています。医学部医学科において自ら学習課題を設定し、その課題に向かって勉学に励める学生の入学を歓迎します。

 <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/>
Tel: 06-6645-3611



最新・最高の医療現場を
目の当たりにして
全人的な医療人を育成する



21世紀の医学・医療に向かって

医学部医学科は1944年4月に設立された大阪市立医学専門学校から始まり、大阪市立医科大学を経て、大阪市立大学医学部となり、現在大阪市にある唯一の医学部医学科です。今日に至る70年間に卒業生が4859人に及び、多くは診療の第一線で臨床医として、また、大学、研究所、医療行政機関などで活躍し、社会からも高い評価を受けています。分子生物学、電子工学、コンピュータなどの導入により、最近の医学医療の進歩は目覚ましく、その進歩に対応するために、阿倍野キャンパスの整備・充実が行われました。1993年に新附属病院、1995年12月に医学情報センター、1997年4月に医療研修センター、1998年4月には看護短期大学部（現看護学科）、そして1998年9月に新学舎（教育研究棟）

が、次々と開設されました。これを機会に21世紀の医学医療に対応し、貢献していく体制をつくるため、現在、教育、研究、診療体制の改革に取り組んでいます。



智・仁・勇を備えた医師になるための充実した教育内容

医学部学舎の入口にある智・仁・勇の三女神像をまず見てください。向かって右側は智の女神、左手で本を抱えています。真中は仁の女神、両手で葉壺をしっかりと支えています。左側の勇の女神は、柔らかな手で、月桂樹を持っています。三女神が皆さんに伝えたいもの、それは医師として高度の医療知識と技術の修得、それに培われた行動力、そして、最も大事なことは、人の持つ悩みや痛みを深く温かく受け入れる心を持つことです。我が医学部はこの理念を持つ医師の養成を目指しています。



Student Voice



解剖実習で、医師になる決意を新たに。

山口 大輝さん（医学部医学科 3年生）
大阪教育大学附属天王寺高等学校 卒業

足のケガで小学生の6年間、病院に通っていた頃から、医師に憧れていました。進路を考えた時、一層その想いが強くなり、医学の道へ進みました。市大を選んだのは、家から通える便利な場所にあるため、さまざまな面で負担が軽いと考えたからです。

現在は、主に人体の正常な構造と機能について学んでいます。2年生後期の「解剖実習」では、人体に初めてメスを入れました。非常に緊張しましたが、医師になる決意を新たにすることができました。4年生以降の本格的な臨床実習で力を発揮できるように、今は全力で基礎知識を吸収しています。

市大の医学部は、学舎がコンパクトで、専門分野の異なる先生方とのコミュニケーションが図りやすいため、毎日が面白く刺激的です。クラスメートは6年間同じで、医学部内の部活も充実しているため、多くの友人ができます。この恵まれた環境を生かしながら患者さんの想いに応えられるような医師を目指します。

Professor Voice



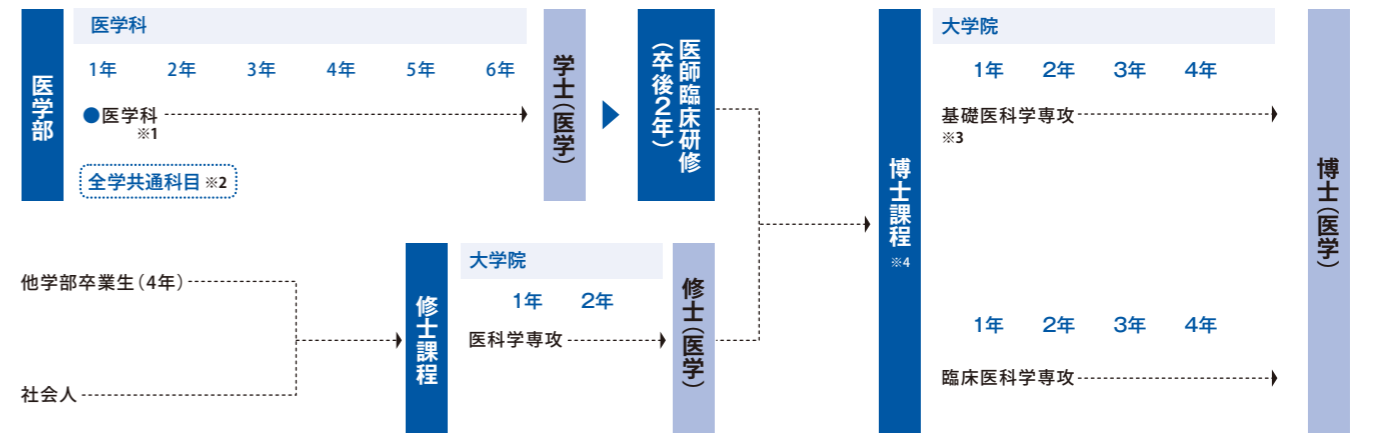
最先端の研究が身近で
かつ先生方、院生との
密接な関係がある。

徳永 文稔 先生（分子病態学）

医学部では、身体の構造や病気のメカニズムを解析し、病気の予防・治療に役立っています。慢性炎症と自己免疫疾患の関係や難病ALS（※）の起こるしくみの解明など最先端の医学研究へ身近にアクセスできる環境があります。多くの先生方や先輩との出会いから、医師としての人格も培ってほしいですね。

※筋萎縮性側索硬化症

カリキュラム



※1: (大学院準備コース) 大学院基礎医学専攻への進学を希望する学生のみ登録が可能。

※2: ただし、2年で履修できるのはCollege English 5, 6のみです。

※3: (MD-PhDコース) 大学院準備コースを修了し、所定の条件を満たした学生は、博士課程に進むことが最短10年で修了できます。

※4: (年限短縮) 優れた業績を挙げた学生は、3年もしくは3年6ヶ月で修了できます。

医学の最先端知識と技術を学び、 全人的な医療人を育成するカリキュラム

医学部における教育

社会情勢の変化を考慮しながら、高度で、先進的かつ全人的な医療を市民に提供するための医師の育成を目指しています。

いわゆるPrimary careを重視した、患者中心の医療を実践できる臨床医の育成を目指して、教育内容を一層充実させるために、卒業後医学教育分野の設置をはじめ、医学部全教員の教育能力をさらに向上させるため、学生と教員の相互評価による教育システムの再評価や教育ワークショップなど、さまざまな取り組みを行っています。

勉学にあたって他の学部との大きな違いは、将来皆さんが臨床医、あるいは医学研究者を目指している、専門教育における科目が全て必修であるということです。

人の病気は常に身体全体との関わりを持って発現し、さらにその時代の社会構造との関連を抜きにしては健康な生活を営むことができないということを、必修科目を通じて学ぶことができます。

専門教育科目には、大きく分けて基礎医学と臨床医学があります。

基礎・社会医学教育

基礎医学では、まず人体の構造と機能のしくみを分子レベルから個体レベルまで総合的に学びます。次に病気の原因、本態やその機序を系統的に学習します。

また細菌、ウイルス、動物などの病原性、その感染機序、ならびに生体の免疫機構を学び、さらに薬物療法の基礎を学びます。

社会医学では、健康事象の地域的・経年的分布、生活環境要因の健康への影響、地域・国・世界の保健システムとその役割、および法的問題と関わる心身の変化、反応、病的現象や障害などを学習します。

そして臨床医学の学習前に、基礎系の各講座を選択し、各講座の教員指導のもとに、特定のテーマについて学生が自ら研究します。

さらに将来、医師としての必要な幅広い知識と教養を身に付け、国際的な医学水準を保つための語学力を習得するため、医学英語の授業があります。

臨床医学教育

1年次より、専門医の指導による心肺蘇生法実習や、早期臨床実習(Early Exposure)を行い、一般病院での医療を実際に体験します。

そして、4年次から臓器別講義を受けた後、実習に入るための診察法を学びます。4年次の終わりには、5年次からの診療参加型臨床実習(CC: Clinical Clerkshipの略)に備え、臨床スター実習や客観的臨床能力試験(OSCE)を行います。

5年次には附属病院で臨床実習を行います。6年次には附属病院以外の教育関連病院での臨床実習(選択型CC)を実施し、幅広い臨床技能を修得し、医療現場での経験を充実させることを目指しています。なお、選択型CCでは、教育関連病院および診療科の選択と調整に関して、学生の自主性を尊重しています。海外の施設における臨床実習も可能で、毎年数名の学生が参加しています。

医学部の附属施設

●医学部附属病院

現在の病院は1993年に建て替え整備し、病床数約1,000床、外来32診療科、1日平均の外来患者数2,000人を超える特定機能病院に発展しました。電子カルテを含む病院情報システムや高度先端医療を支える最新鋭の診断・治療設備と優秀な教員・医師・医療技術職員・看護師によって高度医療を実施するとともに、優れた医師の養成と、先端医療の研究開発を行っています。21世紀の医学・医療にふさわしい国際的な大学病院を目指し、化学療法センターの設置などを行い、市民への良質医療の提供に取り組んでいます。

●附属刀根山結核研究所

結核をはじめとする抗酸菌感染症における分子機序の解明、さらに、新規診断法や治療法の開発など、戦略的制圧研究に貢献しています。

●医学情報センター

医学・医療に関する最新情報・技術や、大学内外の研究者および医療関係者へ積極的に提供しています。

●医療研修センター

医師や看護師をはじめ医療関係職員等が、市民により質の高い保健・医療の提供を目指し、新しい知識や技術を習得するための豊富な多様な研修を行っています。

●学術情報総合センター医学分館

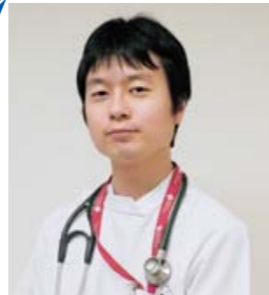
医学雑誌・図書・マルチメディアを豊富に揃えています。また、電子図書館サービスも充実しています。

●高度融合画像解析支援センター

最先端の画像解析・診断装置の高度活用を目指して、診療部門を超えた情報や技術の共有を実現し、装置の操作や画像の評価に関して支援を行う組織です。

卒業生からあなたへ

にしもと ゆきひろ
西本 幸弘さん
住友病院 心臓血管外科
医学部 医学科
2015年3月卒業



私は卒業後、母校の附属病院で初期臨床研修を終え、日々診療に取り組んでいます。本学には1年生から医療現場に出る機会があり、将来、医師になる自覚を持つ良いきっかけになると思います。さらに、実際に患者さんに対して診療をする前に、訓練をするためのシミュレーション教育施設や医療系ボランティアサークルも充実しており、大変恵まれた教育環境だと実感しています。クラスメイトは互いに助け合える一生の良き友人です。皆さんも大阪市立大学医学部医学科で学び、良き医師を目指しませんか？



TOPICS

スキルシミュレーションセンター(SSC)について

総合医学教育学・総合診療センター
首藤 太一 先生

本学では2007年3月に医学・看護学生、研修医・看護師、ならびに全ての病院職員にシミュレーション医療教育を実施する施設：SSCを開設しました。

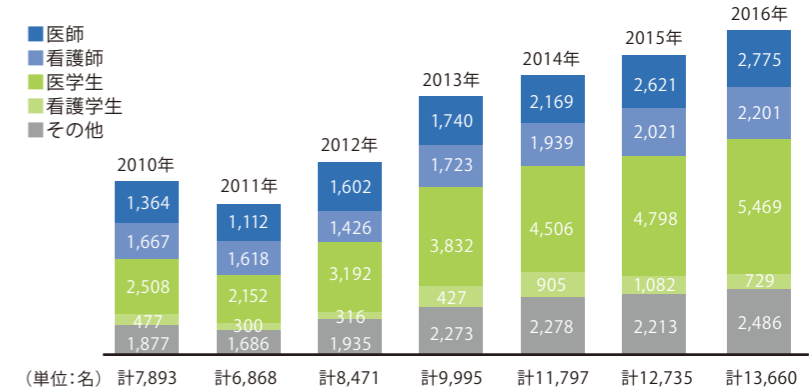
SSCには専任管理者が常在し、表1のような講習会を定期的に開催しています。毎回多くの受講者が集まりますが、「SSCがあるなら大学病院で研修(就職)したい」という学生も多くいます。特に学生インストラクターが病院職員を対象に隔週で開催している基本的な心肺蘇生講習会は大変好評で、「学生達の学習効果からみても有用」と多方面から評価されています。この受講者を含め、SSC総利用者は1年間で約12,000名に達しています(表2)。

この中には、他学部学生や近隣住民あるいは医学部進学を希望する高校生なども含まれ、学生インストラクターも「Teaching is learning」を体験することができます。

表1 SSCでの定期講習会の内訳

基本的な心肺蘇生講習会	採血手技講習会	2次救命処置(ICLS)講習会
模擬患者診療講習会	腹部超音波手技講習会	消化器内視鏡手技講習会
腰椎穿刺&気管内挿管手技講習会	心電図読影講習会	心音聴診手技講習会
呼吸音聴診手技講習会	中心静脈穿刺手技講習会	外科基本手技講習会
女性診察手技講習会 (医学科・看護学科の実習や、学生主催大型講習会にも利用)		

表2 SSC年間利用者の内訳



講義紹介

鰐淵英機先生 基礎・社会医学教育 —修業実習—

修業実習は、基礎医学の全科目を修了する3年生の1~2月に実施されるコースです。それまでの講義・実習とは異なり、医学領域での研究活動を体験してもらうため、基礎医学の全教室および研究室に配属されます。特定のテーマについて基礎系教員の指導下に自ら研修して実験を進め、セミナー等を行い、貴重な体験を得るとともに、研究態度の基礎を身に付けることを目的としています。



葭山稔先生 臨床医学教育 —臨床実習(循環器内科)—

臨床実習で重要なことは、講義で聞いた知識を実践の臨床に即して自分のものにする事です。循環器内科の臨床実習では、学生1名に対して1名の患者さんを受け持ってもらいます。実習の期間中に患者さんの問診、身体的所見そして検査を見てもらい、金曜日に各学生からプレゼンテーションしてもらっています。写真はその様子です。臨床の場で体験する経験が、将来医師になったとき、きっと役に立つようにと願って教育を行っています。



Q & A

医学部医学科のあれこれ

Q 医学科では、社会人の学士入学制度はあるのですか？

A 現在のところ、社会人の学士入学制度は行っていません。医学部の入学試験は2009年度より、従来の分離分割方式から変更し、前期日程のみの募集で行われています。大学院については、2002年度より医科学専攻(修士課程)が設置されました。詳細については、医学部ホームページURL→<http://www.med.osaka-cu.ac.jp/admission/index.shtml>をご覧ください。

Q 6年間の学部を卒業すれば、すぐに医師になれるのですか？

A 学部を卒業後、医師国家試験に合格すれば、医師免許を取得することができます。医師免許により医療行為はできますが、臨床経験が少ないので、研修医療機関で2年間の初期臨床研修を行うことが必要です。さらに、後期臨床研修として専門医(内科系、外科系など)のコースに進むことにより、医師としての臨床経験を積みます。また、大学院へ進み、博士の学位を取得するコースを選択することもできます。

Q 高齢化社会に向けて医学部での取り組みは？

A 高齢化社会に対応して、老化の現象の研究、老年疾患の原因解明と治療法の開発を行うために、1998年に老年医学研究部門が開設され、2000年には老年医科学大講座となりました。老化に関する分子制御、免疫学、遺伝子制御、脳・神経系、生体調節物質などの基礎研究や高齢者に多い腫瘍疾患や循環器血管の病気の研究や認知症研究、専門教育を行っています。

概要・特色
学び
多様な
商学部
経済学部
法学部
文学部
理学部
工学部
医学科
看護学科
生活
科学部
大学院
特設教育
都市経営
研究科
テーマ
キャンパス
ライフ
就職情報
入試関連
情報
キャンパス
アクセス
マップ